【令和2年度】

「大阪コロナ追跡システム」に関するアンケート　リサーチプラン

**１　調査の背景と目的**

　　大阪府では、新型コロナウイルス感染拡大の抑制と社会経済活動の維持の両立を図るため、施設、イベント及び飲食店などを対象に、ＱＲコードを活用し感染拡大を防ぐための「大阪コロナ追跡システム」を開発し、令和２年５月29日より運用を開始している。

今回、大阪コロナ追跡システムの利用者を増加させるとともに継続して利用しやすい運用方法を検討するため、本調査を実施する。

**２　調査（検証）項目**

1. 30代以下は60代以上と比べてSNSを通して大阪コロナ追跡システムを知った割合が高く、一方で60代以上は、30代以下と比べて、TVのニュース、情報番組を通して知った割合が高い。
2. 60代以上は、30代以下と比べて、システムの利点や仕組み、操作方法がわからないという知識的要因でメールアドレスを登録していないと回答する割合が高く、30代以下は、60代以上と比べて、メールアドレスや行動履歴を把握されることが嫌だからというプライバシーに関する心理的要因でメールアドレスを登録していないと回答する割合が高い。

**３　調査対象**

「大阪コロナ追跡システム」を知っている大阪府在住の18～90歳までの男女、各世代（18～29歳、30代、40代、50代、60代以上）200サンプル（男女均等割）、計1,000サンプル

**４　質問項目**

■予備質問　５問

1. 性別（SA）
2. 年齢（NA）
3. 都道府県（SA）
4. 市町村（SA）
5. 「大阪コロナ追跡システム」を知っているか（SA）

■本質問　９問

1. 「大阪コロナ追跡システム」を何で知ったか（MA）
2. システムの利用の有無（SA）
3. 【利用実績がある人】利用した場所（SA）
4. 【店舗・施設での利用実績がある人】店舗・施設での利用回数（SA）
5. 【イベント等での利用実績がある人】イベント等での利用回数（SA）
6. 【利用したことがある人】利用した理由（MA）
7. 【利用したことがない人】利用しない理由（MA）
8. 今後も利用したいと思うか（SA）
9. 【今後利用したいと思わない人】今後も利用したいと思わない理由（MA）

**５　検証方法**

1. SC2×Q１
2. SC2×Q7